科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産学概論	１単位（30時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．助産師の定義、業務および責務を理解する。
２．助産の対象とその特徴を理解する。
３．助産実践における倫理的原則を理解する。
４．専門職である助産師としてのあるべき姿を理解する。
５．世界の女性および母子の現状と助産師の支援のあり方を理解する。

DPとの関連

DP1：豊かな人間性と高い倫理観を基に母子にやさしい支援ができる能力が身につく。
DP4：保健医療チームにおける助産師の役割を認識し、多職種と協働する能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2 3	課題ワーク	グループワーク	専任教員
4	グループワーク　発表		
5	出産の変遷、助産の将来	講義	専任教員
6	助産に関する概念	講義	専任教員
7	助産師の定義、助産師の業務	講義	専任教員
8 9	助産師と倫理、事例検討	講義・討議	専任教員
10	母子保健の歴史、母子保健施策	講義	専任教員
11	助産の歴史と文化	講義	専任教員
12	助産師の教育	講義	専任教員
13	諸外国の女性の人権および母子保健の現状と支援	講義	非常勤講師 （看護師）
14	諸外国の女性・母子支援における助産師の役割	講義	非常勤講師 （看護師）
15	多文化理解	講義	非常勤講師 （看護師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座１（医学書院） 助産学講座９（医学書院） 助産師業務要覧Ⅰ　基礎編（日本看護協会出版会） 助産師の声明　コア・コンピテンシー（日本助産師会出版）	筆記試験 グループワーク点

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
生殖医療と生命倫理	１単位（15時間）	６月～１１月	*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．生殖医療に関する生命倫理の概要について理解する。

２．生殖補助医療の実際を理解する。

３．生殖医療に関わる対象への支援を理解する。

DPとの関連

DP1：豊かな人間性と高い倫理観を基に母子にやさしい支援ができる能力が身につく。

DP2：女性の健康を支援できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2	人間の性と生殖の概念、助産師業務と生命倫理 生殖補助医療の変遷と法令、遺伝と生命倫理 出生前診断と生命倫理、生殖補助医療と生命倫理 生殖医療の課題と展望	講義	非常勤講師 （看護師/不妊症看護認定看護師）
3	不妊症の診断と治療	講義	非常勤講師 （医師）
4	出生前診断	講義	非常勤講師 （医師）
5	出生前診断を受ける対象への支援	講義	非常勤講師 （助産師/遺伝カウンセラー）
6	出生前診断陽性者への支援	講義	非常勤講師 （助産師）
7	不妊に悩む女性（家族）への支援	講義	非常勤講師 （助産師/不妊症看護認定看護師）
8	生殖補助医療に関わる支援についてのまとめ	講義	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座２（医学書院） 助産師基礎教育テキスト２（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 図説よくわかる臨床不妊症学　不妊治療uptodate（中外医学社） 生殖医療の必修知識 赤ちゃんに先天異常が見つかった女性への看護（メディカ出版） 18トリソミー（メディカ出版）	筆記試験 レポート

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
生殖器の機能と形態	１単位（15時間）	４月～６月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標

１．男女の生殖器の形態機能と生殖生理を理解する。
２．性の発達と性反応および性行動について理解する。
３．生殖器系の形態機能の異常および疾患を理解する。
４．遺伝と遺伝性疾患を理解する。

DPとの関連

DP2：女性の健康を支援できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2	生殖器の発生、男女の生殖器系の形態機能、性周期	講義	非常勤講師 （医師）
3 4	生殖機能に関連する内分泌系および神経系 生殖器系の形態と機能の異常および疾患	講義	非常勤講師 （医師）
5 6	遺伝学、染色体疾患、遺伝疾患と診断 遺伝に関する問題を抱えている対象への支援	講義	非常勤講師 （医師）
7 8	性の多様性、性同一性障害や性分化疾患を抱える対象への支援、人間の性反応と性行動	講義	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座２（医学書院） 助産師基礎教育テキスト２（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト７（日本看護協会出版社） ＜参考図書＞ 最新産科学正常編（文光堂） プリンシプル産科婦人科学（メジカルレビュー社） 図説よくわかる臨床不妊症学　不妊治療uptodate（中外医学社）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
乳幼児の成長と発達	１単位（15時間）	５月～６月	*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標
１．乳幼児の成長発達と成長を促す支援について理解する。 ２．乳幼児の健康診査と成長発達に関連する諸因子について理解する。

DPとの関連
DP2：女性の健康を支援できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1 2	乳幼児の成長発達 乳幼児の成長発達の異常	講義	非常勤講師 （医師）
3 4 5	乳幼児に起こりやすい疾患と支援方法 乳幼児に起こりやすい事故と対処方法 乳幼児の予防接種	講義	非常勤講師 （医師）
6 7 8	乳幼児の成長発達を促す援助 乳幼児の健康診査と育児支援	講義	非常勤講師 （助産師）

使用テキスト	評価方法
助産学講座８（医学書院） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
母子の栄養	１単位（15時間）	４月～６月	*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標
１．マタニティサイクル各期の栄養と栄養指導を理解する。 ２．乳幼児期・思春期の栄養と栄養指導を理解する。 ３．母子の健康に影響をおよぼす食の問題について理解する。

DPとの関連
DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	母子の栄養の基礎	講義	非常勤講師
2 3	マタニティーサイクル各期の栄養指導、課題	講義	非常勤講師
4 5	乳幼児の栄養指導、課題	講義	非常勤講師
6 7	学童期の栄養指導、課題	講義	非常勤講師
8	思春期の栄養指導、課題 病態に関する栄養指導	講義	非常勤講師

使用テキスト	評価方法
助産学講座３（医学書院） 助産学講座６（医学書院） 助産学講座７（医学書院） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社） 食品解説つき　八訂準拠ビジュアル食品成分表（大修館書店）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
母子の心理・社会学	１単位（15時間）	４月～５月	非常勤講師 *非常勤講師（臨床心理士） （*実務経験有）

科目目標
１．家族支援の基礎となる母性・父性の発達や家族関係の発達について理解する。 ２．家族形態や家族関係の変化について理解する。

DPとの関連
DP3：科学的根拠に基づき、妊産褥婦および新生児へ安全に助産実践できる基礎的な能力が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	家族の機能と役割、家族の変化、現代における家族の再編	講義	非常勤講師
2	母親・父親と社会	講義	非常勤講師
3	社会のなかのこども、日本・世界の子育て支援	講義	非常勤講師
4	親子関係を支えるケア	講義	非常勤講師 （臨床心理士）
5 6	母子関係の形成と課題	講義	非常勤講師 （臨床心理士）
7	父子関係の形成と課題	講義	非常勤講師 （臨床心理士）
8	家族、地域のネットワークと子ども・親の心理的な発達と適応	講義	非常勤講師 （臨床心理士）

使用テキスト	評価方法
助産学講座４（医学書院） 助産師基礎教育テキスト４（日本看護協会出版社） 助産師基礎教育テキスト６（日本看護協会出版社）	筆記試験

科目名	単位数（時間数）	履修時期	担当講師
助産学研究	１単位（15時間）	9月～12月	*専任教員・*非常勤講師 （*実務経験有）

科目目標
１．助産学研究の目的と意義、倫理的配慮について理解する。 ２．助産学研究のプロセスについて理解する。

DPとの関連
DP5：専門職業人として助産を深く追求する姿勢が身につく。

回	科目内容	授業形態	担当講師
1	助産学研究の意義と目的 研究に対する倫理的問題	講義	非常勤講師 （助産師）
2	研究計画書の立案	講義	非常勤講師 （助産師）
3	文献検索と文献検討	講義	非常勤講師 （助産師）
4	質的研究の利用	講義	非常勤講師 （助産師）
5 6	量的研究の利用	講義・演習	非常勤講師 （助産師）
7 8	文献クリティークの実践	講義・個人または グループワーク	専任教員

使用テキスト	評価方法
助産学講座１（医学書院）	筆記試験 文献クリティーク結果